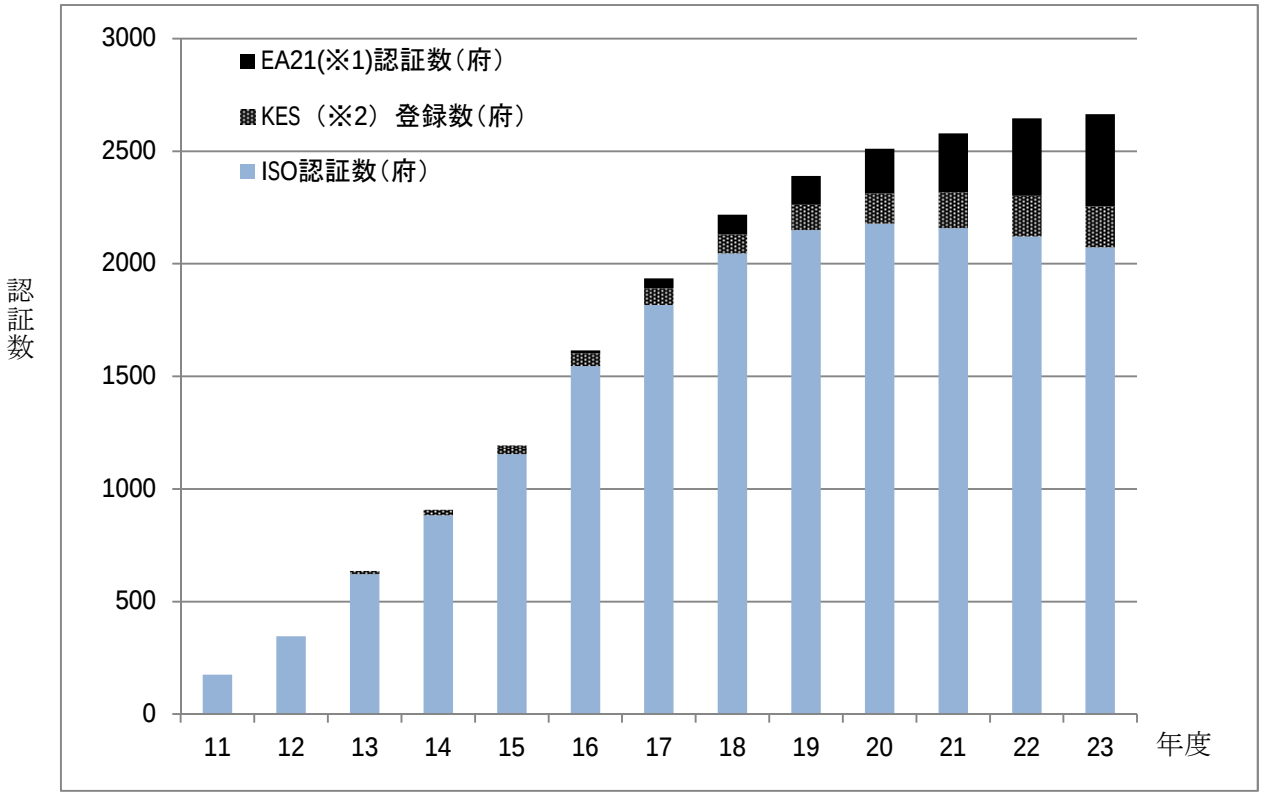
資料３－１

第１回部会で頂いたご意見と追加説明（規制以外の手法関係）

頂いたご意見

ISO14000 シリーズ取得数が伸び悩んでいる要因はなにか

ISO 認証数は近年伸び悩んでいるものの、エコアクション 21（EA21）、ＫＥＳの認証数が増加。



※1：環境省主導による中小企業向け環境認証制度

※2：京都発の中小企業向け環境認証制度

図１　大阪府域の ISO14001 及び新 EA21 認証数

（公益財団法人日本適合性認定協会、（財）地球環境戦略研究機構調べ）

頂いたご意見

自主的努力が排出負荷削減に果たしている効果を示すデータはないか

アンケート結果では、廃棄物排出量や電気使用量をはじめ、省エネ・省資源項目で改善効果が目立っている。

	回答組織数（N）	ISO14001で進捗管理を行っている	ISO14001での進捗管理に苦労している	ISO14001の目的・目標で管理している	ISO14001で状況の改善が見られた	ISO14001で今後さらに改善努力をしたい	のべ回答数
天然資源利用量	566	145	41	210	106	83	585
水使用量	583	226	32	157	106	89	610
排水量	519	193	32	127	80	99	531
廃棄物排出量	750	190	16	333	215	65	819
電気使用量	764	176	19	382	199	61	837
ガス使用量	567	200	27	200	100	71	598
ガソリン使用量	616	209	31	219	111	73	643
CO2 排出量	605	156	57	210	123	108	654
騒音の状況	560	251	29	181	54	52	567
振動の状況	524	234	26	164	50	53	527
水質汚染の状況	541	228	21	174	68	60	551
土壌汚染の状況	439	181	29	122	35	73	440
化学物質使用の状況	543	221	29	175	60	70	555
取引先や関連企業での CO2 排出量	364	71	65	64	29	138	367
その他	36	7	2	16	8	9	42

ISO14001 の適合組織の運用状況（H23 年 3 月、公益財団法人日本適合性認定協会とりまとめ）、無作為抽出 1500 組織、有効回答数 802 件

頂いたご意見

規制以外の手法の促進について、他の自治体の事例はどうか

資料３－３　自主的な活動の促進にかかる都道府県条例・規則について　のとおり